



ボラン・て

4月

「ボラン・て」の「て」は、つなぎあう人と人の「手」。手を借りたり、貸したりするためのボランティア情報をイメージして名づけました。

地域づくりの最前線 ～そのチャレンジ！応援します～

NPO法人 杉並介護者応援団 副理事長・
ゆうゆう高円寺東館 施設長の河原拓巳さん。

介護者や家族の心に寄り添い、
誰もがいきいきと安心して暮らせる
地域づくりを目指しています。
詳細は2面をご覧ください。



アートで繋がる
多世代交流
と
未来へのチャレンジ!!
NPO法人 杉並介護者応援団
ゆうゆう高円寺東館

【特集】NPO法人 杉並介護者応援団

タイルモザイクアートを通しての世代間交流

3面・・・センターからのお知らせ

裏面・・・職員紹介

杉並ボランティアセンター 年間事業計画

この情報紙は、区内のボランティアの方々に、宛名シール貼り、封入作業を行っていただき、発行しています。
いつもご協力ありがとうございます。

【特集企画】

地域づくりの最前線 ～そのチャレンジ！応援します～

杉並ボランティアセンターでは、「地域福祉活動費助成金」を通して、地域で活動する団体を応援しています。今回はその中の一つ、**チャレンジ応援助成団体※**「NPO法人 杉並介護者応援団」副理事長の河原 拓巳さん（ゆうゆう高円寺東館施設長）、理事長の北原 理良子さんに活動の様子をうかがいました。※チャレンジ応援助成とは・・・新規の活動を応援するための助成金。地域の方々からの善意で集まった歳末たすけあい運動募金が原資になっています。



ゆうゆう高円寺東館



タイルモザイクアート

「NPO法人 杉並介護者応援団（以下、介護者応援団という）」は、2006年に行政が介護者支援対策の一つとして実施した「介護者サポーター養成講座」の修了生により任意団体として設立。2008年「認知症家族会支援事業」を区から受託するにあたり法人格を取得し、「ゆうゆう高円寺東館」の管理運営を受託。助成金を活用した「タイルモザイクアートを通しての世代間交流」を企画し、時代の変化とニーズに沿った居場所づくりを工夫しています。

どんな活動をしていますか？

北原さん：介護者応援団では、介護者・要介護者同士が不安や悩みを語り合い、情報交換を行う「集い」を応援しています。昨年度、介護者応援団のメンバーのひとりであるタイルモザイク作家の河原さんをゆうゆう高円寺東館施設長に迎えました。「子どもから高齢者まで、住民同士が支え合える地域にしたい」そんな介護者応援団の想いを引き継いで、若い世代のメンバーが「アート」という視点で、ゆうゆう館を拠点にした多世代交流の可能性を広げる新しい風を吹き込んでくれました。今までにないアイデアや意見を取り入れて、地域で暮らす方々の世代を超えたつながりに期待しています。

河原さん：ゆうゆう高円寺東館には、不登校の小中学生の居場所である「金曜学習室」があります。子どもたちを支援する方々や杉並区教育委員会のスクールソーシャルワーカーとの連携により、9年目を迎えました。コロナの影響で縮小されましたが、現在は月に2回、金曜日の夕方に4～5名の子どもたちが勉強をしたり、ゲームをしたり、音楽を聴いたり、思い思いの時間を過ごしています。

カラフルなタイルを木工用ボンドで貼るタイルモザイクアートは、子どもから高齢者まで気軽に楽しめて脳トレにもなります。このアートを通して金曜学習室の子どもたちやゆうゆう館を訪れる方とつながるきっかけになるのではないかと。そんな多世代交流のチャンスをかたちにしたいと思い、チャレンジ応援助成に申請して、「タイルモザイクアートを通しての世代間交流」を企画しました。

タイルモザイクアートで多世代交流！ 「ゆうゆう館×子どもたち」

河原さん：タイルモザイクアートは、同じ材料を使っても完成した作品は一つとして同じものはありません。金曜学習室の子どもたちがゲーム遊び以外に、自分にはかないものを作る面白さを体験してほしい。子どもたちの作品がゆうゆう館に来る地域の方々や、介護者応援団のメンバーに受け入れられることにより、子どもたちの自信となって社会に一步踏み出すきっかけとなれば嬉しく思っています。

北原さん：ゆうゆう高円寺東館の協働事業では、親子で参加できるアートワークショップも行っています。子どもたちを連れてくるお父さんお母さんの親は、ちょうど介護者応援団のメンバーくらいの世代です。ゆうゆう館での事業を通して顔が見える関係で多世代が行き交うことで、将来介護にかかわる方や必要になる方にとっての支えとなることができるのではないのでしょうか。



タイルモザイクを制作する子どもたち

誰もが気軽に立ち寄れる場 未来へのチャレンジ！

河原さん：ゆうゆう館は、区内に住む60歳以上の方にご利用いただく施設ですが、協働事業は年齢を問わず誰でも参加できるので活動の幅を広げることができます。地域の学校や児童館、学童、町会、ケア24など様々な機関と連携しながら、世代を超えて住民同士がゆるやかにつながり、ゆうゆう館が地域にとけこむ拠点の一つになれば嬉しいです。今後毎年3月に行っている金曜学習室の卒業お祝い会では、みんなのタイルモザイクアート作品を飾ります。子どもたちの成長を感じながら、ゆうゆう館を拠点とした多世代交流の可能性を「アート」というチャレンジに託しています。



NPO法人 杉並介護者応援団

NPO法人 杉並介護者応援団

TEL / FAX: 03-6768-1322

✉ s_kaigosha_ouendan@jcom.home.ne.jp

ゆうゆう高円寺東館

〒166-0003 高円寺南1-7-22

TEL / FAX : 03-3315-1816



ご報告

「チャレンジ！ボランティア特別企画」を開催しました

2月19日(土)ウェルファーム杉並にて、すぎなみ地域大学&杉並ボランティアセンター共同の「チャレンジ！ボランティア特別企画 ボランティアって、なんだ？」を開催しました。23名が参加され、新たな活動に向けて実践者からのお話を伺いました。

すぎなみ地域大学学長の木原 秋好 氏からの基調講演の後、グリーンバード高円寺 チームリーダーの谷村 一成 氏、善福寺プレーパークの会代表の中村 美奈子 氏、杉並区在住・3歳の息子をもつパパの橋本 淳 氏の3人のゲストがボランティア活動を始めたきっかけや継続してきた今までの振り返りなどをお話いただきました。

これからも杉並ボランティアセンターでは、ボランティア活動に一步踏み出す皆さんと地域活動をつないでいきます。



▲ 左から、橋本 氏、中村 氏、谷村 氏、木原 氏

ご報告

使用済み切手

令和3年度(4月1日～3月31日)区内の関係機関や団体、区民の皆さまから使用済み切手のご寄付をいただきました。ご協力ありがとうございました。

のべ約 211件(個人・団体含む)
収益金：42,100円

収益金は地域福祉のために活用します。
引き続き、切手回収のご協力をお願いいたします。



切手整理ボランティアの皆さん

ご報告

傾聴ボランティアスキルアップ講座

3月25日(金)に、傾聴ボランティアスキルアップ講座「傾聴の基礎と個人宅の傾聴・困難事例への対応について」を開催しました。講師に、NPO法人P.L.A.(パートナーシップ アンド リスニング アソシエーション)のおふたりをお迎えし、28名の方が参加されました。

傾聴の基本をロールプレイ形式で確認し、グループで経験を共有する等、学びを深める講座となりました。

コロナ禍で、施設での傾聴ボランティア活動が激減していますが、参加者からは、「忘れていたことを思い出す良い機会でした。」「他の傾聴グループの方とお話しできてよかったです。」と感想が寄せられました。



◀ 講師の松嶋 美陽 氏(左)、
峯崎 のり子 氏(右)



区内で活動する傾聴グループの皆さん

Hello!
登録団体さ～ん Vol.01

★杉並ボランティアセンターの登録団体を紹介するコーナー。団体登録受付中!

◆ 柿の実会 (かきのみかい)

- ・活動内容：絵本や布の遊具を作り図書館、児童館、保育園、特別支援学校へ届けています。
- ・活動場所：ゆうゆう下井草館
- ・活動日時：毎週水曜日 10:00～11:45



針仕事が好きな方
会員募集中!

お問合せ

杉並ボランティアセンター

〒167-0032 天沼3-19-16

ウェルファーム杉並4階

TEL: 03-5347-3939 FAX: 03-5347-2063

H P: <http://borasen.jp/>

ぼらせん.jp

検索



杉並ボランティアセンター 職員紹介

- ①名前
②担当業務
③私のパワースポット☆



- ①江口（後列左）
②地域福祉活動費助成金、
傾聴ボランティア、
ホームページ
③銭湯！

- ①坂西（後列右）
②災害、福祉教育、夏ボラ
③温水プール！

- ①平澤（後列中央）
②特技さん、切手整理、ボラン・て中面
③善福寺公園

杉並ボランティアセンター所長

- ①竹嶋（前列左）
②センター業務全般、
運営委員会等
③コンサートホール

地域支援課長

- ①中島（前列中央）
②ささえあう地域づくり全般（実際は
書類確認が6割、話を聴くのが4割）
③後樂園ホール！

- ①遠藤（前列右）
②情報紙、夏ボラ、
交流会
③国立劇場小劇場

NEW

異動しました



皆さまとの出会い
に彩られた杉並ボ
ランティアセンターでの2年間。
地域で活動する方々の想いに
触れ、人と人の心が通い合う
多くの瞬間は私にとっての宝
物です。本当にありがとうございました。4月からは管理係へ
異動いたします。これからも、
ささえあう暮らしの一助となれ
るよう努めてまいります。
（大尾）

令和4年度 杉並ボランティアセンター 年間事業計画

地域とつながろう講座～チャレンジ！ボランティア～

【時期：年4回】

何かを始めたいと思っている方に、ボランティア活動始める
ポイントや杉並区内の情報などをご案内します。

夏のボランティア体験

【時期：7月～9月】

区内在住・在学・在勤の方を対象として、
杉並区内の様々なボランティア体験を行います。

ボラセン交流会♪
11月（予定）

災害ボランティアセンター 運営スタッフ養成講座

【時期：9月～10月（予定）】

杉並区の災害への取り組みを学び、職員とともに災害ボラン
ティアセンターの運営に携わるボランティアの養成を目指します。

災害ボランティアセンター 運営訓練

【時期：12月上旬（予定）】

杉並社協は、区と『杉並区災害ボランティアセンター』を設置・
運営する協定を結び、有事に備えて立上げ訓練を行っています。

地域福祉活動費助成事業の募集

【時期：12～1月（予定）】

歳末たすけあい運動の募金を財源とする助成金です。
地域福祉を推進する活動を資金的に応援します。

通年

- 情報紙「ボラン・て」発行：毎月10日頃
- 発送ボランティア：情報紙「ボラン・て」発行日に
封入作業などを行います。
- 切手整理ボランティア：毎月第3水曜日



杉並のボランティア情報紙「ボラン・て」

発行：社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会
杉並ボランティアセンター

〒167-0032 杉並区天沼3-19-16 ウェルファーム杉並4階

TEL: 03-5347-3939 FAX: 03-5347-2063

メール：info@borasen.jp ホームページ：http://borasen.jp

うえるくん

杉並社協のイメージキャラクター

開所時間：火～土曜日

8:30～17:00

* 祝日・年末年始はお休みです。



情報紙「ボラン・て」は、次の区内各所にも置いてありますのでご利用ください。区役所・区民集会所・区民
事務所・地域区民センター・一部のゆうゆう館・図書館・駅スタンド（区内JR、地下鉄丸の内線など）・他